

福祉施設で昼食提供

おとろふ工房いしかわ「湯豆腐の日」に

【刈谷】大豆加工品の製造販売を手掛ける、おとろふ工房いしかわ（本社高浜市豊田町、石川伸社長、電話0566・54・0330）は9日、高浜市向山町の社会福祉法人昭徳会授産所高浜安立で、利用者らに湯豆腐を振る舞うイベントを開いた。利用者らと職員100食分の湯豆腐のほか、高浜のご当地グルメ「とり

めし」やプリンを昼食として提供した。

同社は12月12日を「湯豆腐の日」と定めている。この日に合わせて、菓子の日と同開発などで交流のある同施設で毎年、湯豆腐を振る舞っている。今回で8回目。

石川社長は、利用者ら前に「昨年はコロナ禍でイベントができなかったが、今年はみんなで食べることができてうれしい。豆腐をたくさん食べてコロナに負けない体づくりをして、仕事をがんばってください」と励ました。

当日は、同社が高浜市に寄付した100万円を導入される、自閉スペクトラム症などの障害者向けコミュニケーションセッショントレーニングプログラム「ペクス」が紹介された。同施設でも今後、

は「当施設は障害を持った人が働く場で、おとろふ工房いしかわのアレルゲン対応菓子『はりまる』も作っている。付き合いのある企業の振る舞いを毎年、皆で楽しみにしており、ありがたい」と話していた。



利用者に湯豆腐を振る舞った